

平成 21 年 7 月 8 日

各 位

東京都港区南青山五丁目 4 番 35 号
 株式会社リンク・セオリー・ホールディングス
 代表取締役社長 佐々木 力
 (コード番号：3373 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役グループ CFO 大西 秀亜
 TEL 03-3407-7502(代表)

平成 21 年 8 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 4 月 8 日に公表した平成 21 年 8 月期通期（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 8 月期通期（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 8 月 31 日）連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	47,475	△16	△2,860	△4,859	△30,573.98
今回発表予想(B)	46,454	△163	△2,125	△4,385	△27,381.95
増減額(B-A)	△1,021	△147	735	474	—
増減率	△2.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期(平成20年8 月期)実績	59,887	2,056	396	△197	△1,262.40

【連結業績予想修正の理由】

小売市況の悪化に伴い日本、欧州における売上高が予想を下回ることにより、売上高は前回予想から 1,021 百万円の減少となる見込みです。

日米欧各地域における粗利益率改善に加え経費抑制に努めたものの、売上計画未達を補うには至らず、営業利益は前回予想から 147 百万円の減少となる見込みです。

経常損益は、前回予想に比べて実勢為替レートが円安で推移したことにより、下半期において米国・欧州子会社向け円建て貸付金に係る為替評価益が 951 百万円発生(参考 1)し、前回予想を 735 百万円上回る見込みです。当期純損益は、前回予想で見込んでいなかった社債償還損 370 百万円を特別損失として計上することにより、前回予想を 474 百万円上回る見込みです。

LTH

(参考1) 米国・欧州子会社向け円建て貸付金に係る為替評価損益の前提について

	米国子会社向け		欧州子会社向け		為替評価損益合計（損失の場合：△）
	円ドル為替レート (1ドル換算)	為替評価損益	円ユーロ為替レート (1ユーロ換算)	為替評価損益	
第2四半期連結累計期間実績	91.01円	△1,787	127.93円	△1,004	△2,791
通期予想（4/8発表）（注）	91.01円	△1,787	127.93円	△1,004	△2,791
通期実績見込 (前回予想からの増減)	96.02円	△1,146 (+641)	135.51円	△694 (+310)	△1,841 (+951)

(注) 前回予想においては、下半期における為替評価損益の発生を見込んでおりませんでした。平成21年6月末の円ドル・円ユーロ為替レートが、前回予想と比べて円安となったことにより、貸付金に係る為替評価損益は米国・欧州向けで各々641百万円、310百万円改善しております。なお、連結財務諸表上の為替評価損益には、これ以外に仕入決済等に係る為替評価損益を含みます。

2. 個別業績予想について

平成21年8月期通期（平成20年9月1日～平成21年8月31日）個別業績予想につきましては、平成21年1月28日に公表した業績予想数値の修正はいたしません。

（なお、上記予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。）

以上